

もの忘れリハビリ デイサービス

もの忘れは早期発見、早期対応が大切です

リハビリ専門職との連携



作業療法士



言語聴覚士



理学療法士

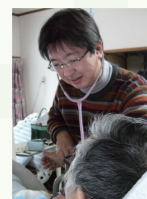
- ・作業療法士や言語聴覚士等のリハビリ専門職が施設を訪問し、利用者の“もの忘れ検査”を行います。
- ・検査結果により症状に合わせて個別に、もの忘れ改善リハビリプログラムを作成します。
- ・定期的に訪問および検査を行い、もの忘れ症状の変化に合わせて対応を行います。

専門研修を修了した 介護職員を配置



- ・国の指定する“もの忘れに関する専門研修”を修了した介護職員を多数配置しており、症状に合わせた専門的なケアが可能です。
- ・リハビリ専門職と共同して介護職員がもの忘れリハビリを行います。

系列医療機関との連携



もの忘れ外来のある沼田クリニック、沼田脳神経外科循環器科病院との連携によりもの忘れ症状や体調変化への対応もスムーズです（もの忘れ外来は認知症サポート医が担当しています）。

ご利用に関するご相談は下記までお願いいたします

みんなち園原



沼田市
利根町園原 871

☎ 56-9210

沼田公園前デイサービスセンター



沼田市
西倉内町 658

☎ 30-2201

ぬまたとね総合在宅ケアセンター



沼田市
戸鹿野町 238-1

☎ 23-2526

もの忘れ改善のためのリハビリプログラム

～もの忘れ 早めの対策 よい結果～

- ・利用者さんの好みや今までの生活に合わせたプログラム作成を心がけています。
- ・無理をせず、やや難しいと感じるくらいの課題を楽しく行っていただけるよう支援します。
- ・頭を使うリハビリ、手先を使うリハビリ、足のリハビリを状況に応じて組み合わせ、頭と体を効率よく鍛えられるようにしています。

リハビリプログラム例

Aさんの場合

計算問題を解く

すらすらと解けるくらいの計算問題を行うと脳が活性化します。



畑仕事をする

なじみのある作業を行い、やりがいや達成感を感じると脳内で神経伝達をスムーズにする物質が分泌されます。



足のマッサージ、ストレッチ、筋力強化を行う

足の痛みを和らげ、筋力をつけることで動作が安定し、転んでけがをする危険性が減ります。

Bさんの場合

編み物をする

集中力を鍛えたり、気持ちを落ち着かせる効果があり、手先の運動にもなります。



絵や図形の間違い探しを解く

映像や形を覚えようとすることで、記憶力が鍛えられます。

散歩をしながらしりとりをする

しりとりや簡単な計算などを運動と一緒に行うことで、脳内で神経を成長させるホルモンの分泌が促されたという研究もあります。

